

# 「健康経営フォーラム 2016in福岡」アンケート結果

2017/1/13 事務局:一般財団法人日本予防医学協会

“おかげさまでたくさんの方々にご参加いただき、盛況のうちに無事終えることができました。  
アンケート結果を集計いたしましたのでご報告申し上げます。”

日時:2016年10月6日(木)14:00~17:30/場所:パピヨン24 ガスホール  
参加者:90名様 アンケート有効回答数:50(55.6%)

## ① 会員種別について

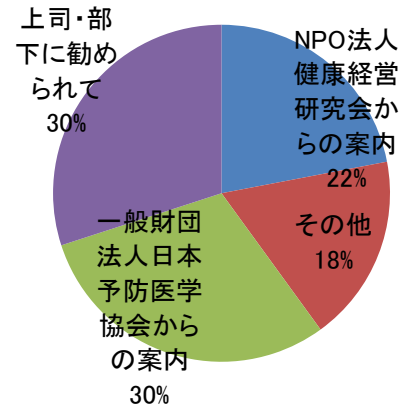
非会員	47人	94.0%
正会員・賛助会員	3人	6.0%
合計	50人	

## ② 役職について

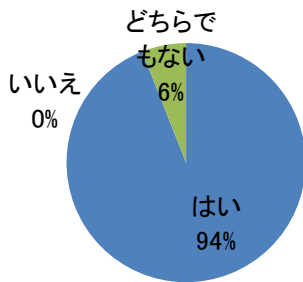
役員・理事	9人	18.0%
管理職	8人	16.0%
一般職	33人	66.0%
合計	50人	

## ③ 今回の健康経営フォーラムへの参加のきっかけ

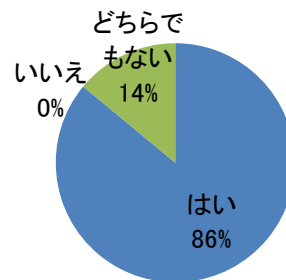
上司・部下に勧められて	15人
NPO 法人健康経営研究会から紹介されて	11人
一般財団法人日本予防医学協会から紹介されて	15人
その他	9人
合計	50人



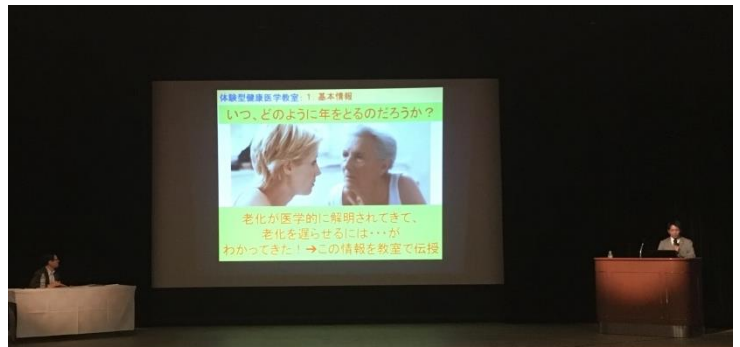
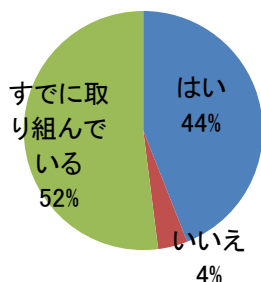
## ④ 今回の健康経営フォーラムは参考になりましたか？



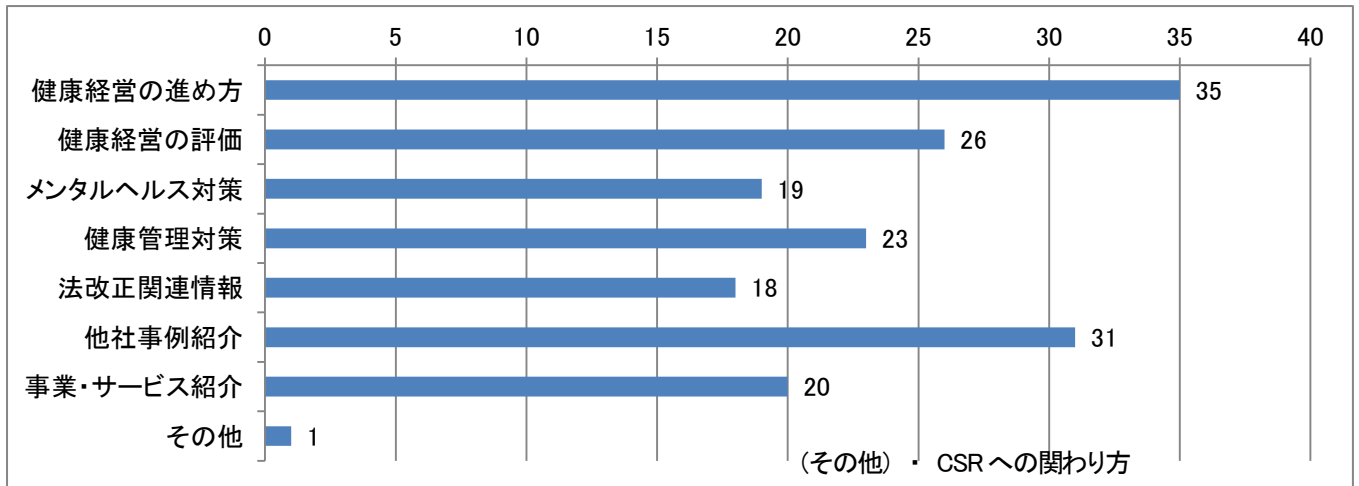
## ⑤ 健康経営研究会の活動に興味を持たれましたか？



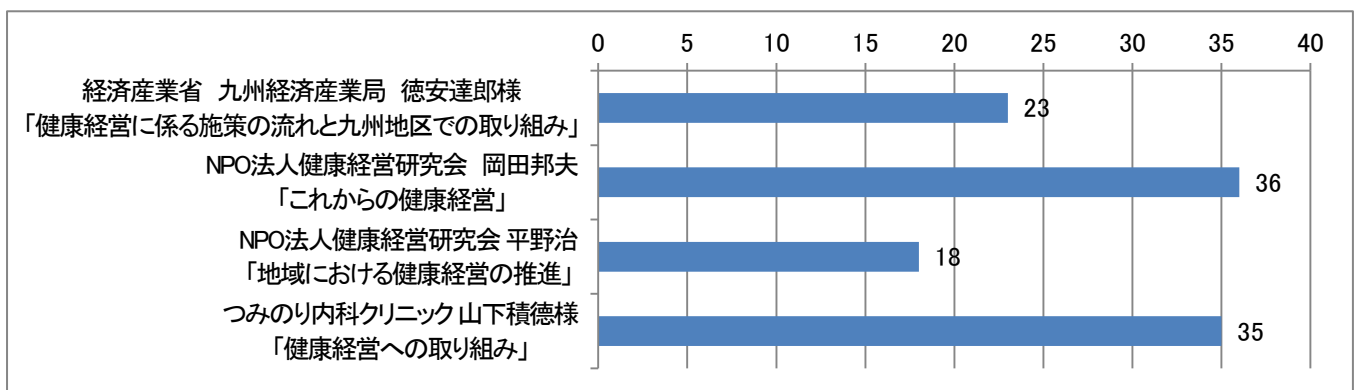
## ⑤ 健康経営の考え方を自社に積極的に取り入れたいと思いますか？



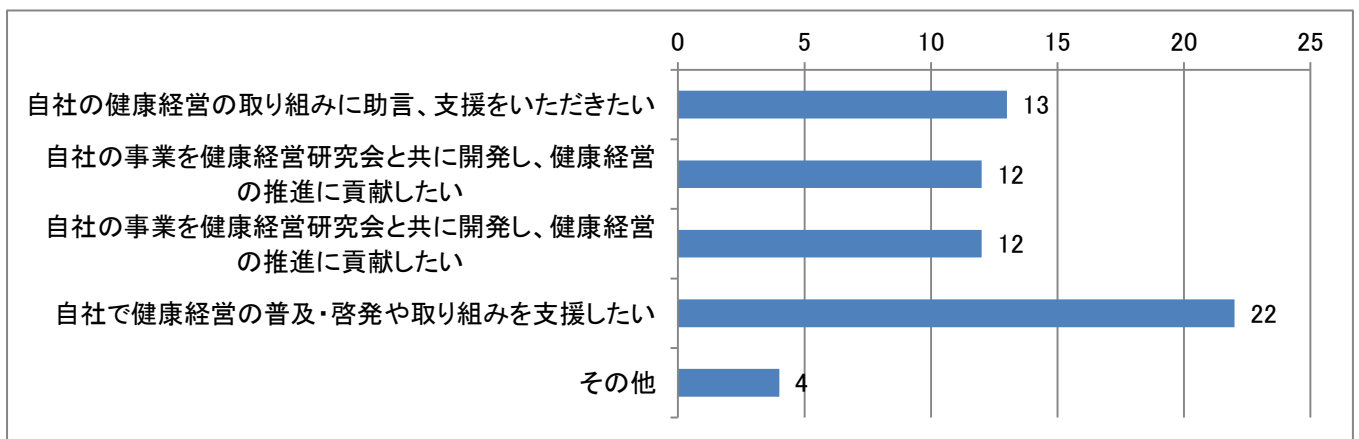
⑥ 健康経営フォーラムで取り上げてもらいたい内容について、該当するものをすべてご選択ください



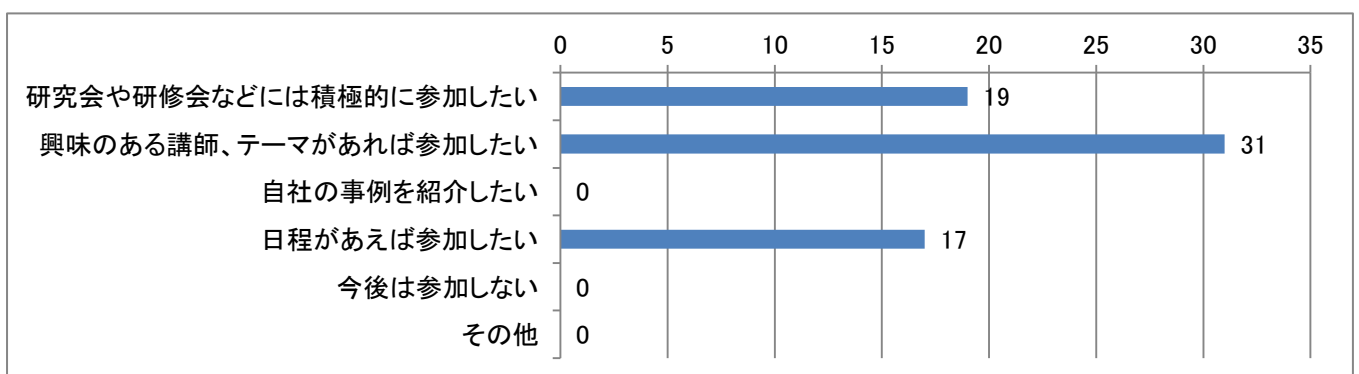
⑨ 今回の議題に興味を持ったものは何ですか？ 該当するものをすべてご選択ください。



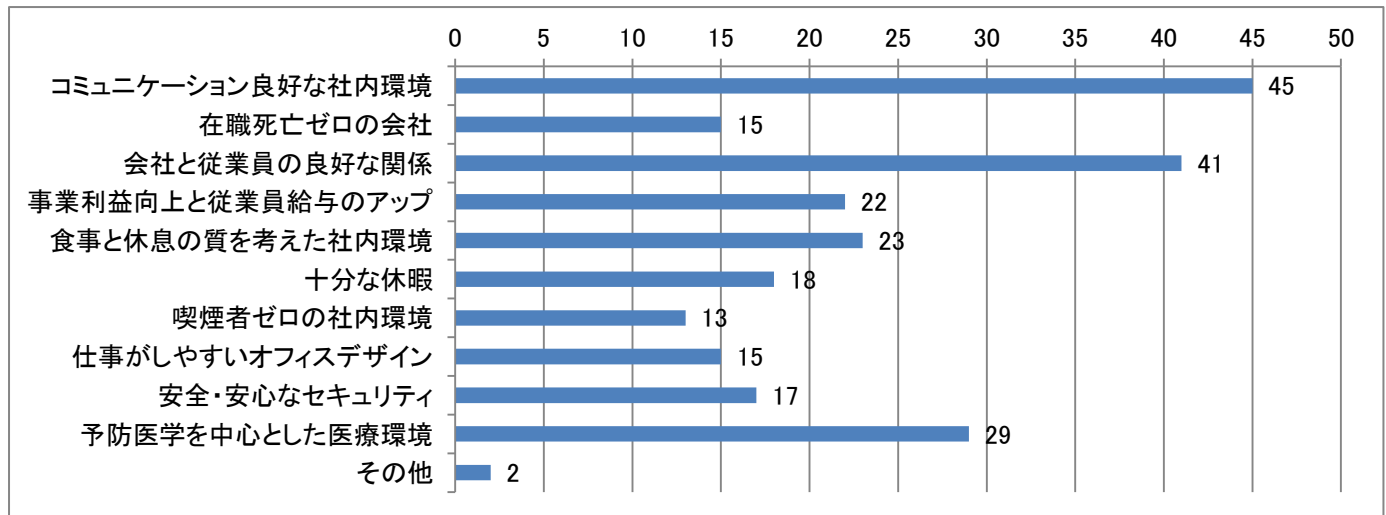
⑩ 健康経営の普及・啓発・支援に関して、該当するものをすべてご選択ください。



⑪ フォーラムや勉強会、研修会への参加に関して該当するものをすべてご選択ください。



⑫ 健康経営の考え方について該当するものをすべてご選択ください。



(その他)

- ・ 運動指導・健康指導を通じた
- ・ 社員の生活習慣の改善

⑬ あなたが考える健康経営のゴールのイメージを教えてください。

- ・ 従業員と経営者がともに「健康」を実感できる職場の構築。
- ・ 従業員と会社側の関係が風通しがいい、開かれた職場。健康という側面のみでなく、開かれた職場。
- ・ 企業と企業、企業と地域が連携した健康づくりを行うことで、これからの超高齢化社会での安心・安全な生活ができるハッピーな社会になるのではないかと思います。
- ・ 従業員が元気で生き生きと働ける会社
- ・ 退職者も発生せず、メンタルヘルス不調もない会社づくり。社員から愛され自慢される会社がゴールです
- ・ 健康経営という言葉が必要にならなくなるくらい当たり前の概念として企業・自治体が従業員を大切に、従業員一人一人が充実して働く社会の構築。
- ・ ゴールではなく、継続進化し続けるイメージ
- ・ 全ての企業と社員が幸せを感じ、心と体の健康と共に成長する社会の形成。ご縁を大切にする文化。
- ・ 健康管理と利益確保を重視した「業務体制」の安定化。
- ・ 身体的な健康はもちろん精神的な健康も踏まえて、様々な対策をとっていく。
- ・ ゴールはわからないが、当面の目標として健康診断結果数値の改善、禁煙ゼロへ近づける、これが実現できれば健康社員育成に大きく貢献できるのでは。
- ・ 社員ひとりひとりが自分と他者を大切にする会社
- ・ よりよいコミュニケーションで、たくさんの人が笑顔になる社会。所属の事業所では、トップダウンで行わなければならないので、幹部が健康経営に関心をもってもらえれば、少しずつ変わり、経営に繋げていけるようになると思うが、現状は難しい。個人的には、健康経営に関する事業に参加できればと思っています。
- ・ 社員が健康で明るく仕事ができることにより、会社の生産性の向上、売り上げアップができる。
- ・ 社員の健康育成→家族の健康育成→地域の健康育成結果としての医療費適正化、低減。
- ・ 社員の健康が従業員満足ESとなり、ESがCSお客さま満足となり、その追求が利益となること
- ・ 経営者の理想の追求・実現→法人および社員の健康リテラシーが高く、仕事を通じての経済活動により自己実現を可能とし、社員の一人一人がやりがいをもって、事業目的を確実に遂行している状態。
- ・ 社員、家族の幸福。事業の継続成長。
- ・ 健康経営を行う各企業が、それぞれに社員の健康を維持する取組みを行い、結果として企業の活性化に繋がると共に、日本全

体の健康寿命の延伸を推進する。

- ・ 健康銘柄やプラチナ大賞といった評価もあるが、経営層と従業員がよりよい環境を作るべく継続して改善いくこと。
- ・ 従業員が心身ともに、イキイキと働ける職場作り
- ・ ワークライフバランス環境の向上による、心身ともに健康な職場造り
- ・ 一人一人が働くこと(労働)によって生活や人生が豊かになること
- ・ 社員が生き生きと定年まで働くことができ、会社に勤めたことで長生きができる(可能性が高くなる)職場環境が作られており、経営層がその実現にむけて先頭に立って行動している。
- ・ 心体寿命
- ・ 病休者と医療費の減少
- ・ 社会・地域・会社の全員の健康と利益向上と国の継続的な成長。
- ・ 会社の業績向上と従業員の働くことでの満足度の向上の両立。
- ・ 従業員が生き生きと元気になる職場
- ・ 社員一人一人健康について取りくめている
- ・ 長く働ける環境
- ・ 皆が元気に明るく仕事にとりくめる
- ・ 会社全体、社員自らが、健康に良いことに取り組む気運が高まっていること。
- ・ 職場環境等改善され、職員のモチベーションがあがり、事業利益の向上につながり、どちらも win の状況になること。
- ・ 一人一人が大切な人的財産として、事業所のビジョンに向けて、それぞれが、自分の居場所で、生き生きと仕事ができる
- ・ 1人でも多くの人元気に長く働くことができる環境をつくり結果として 企業の利益 さらに 日本経済の発展につながればと思います。
- ・ 個人のパフォーマンスが上がることで会社に利益をもたらすと共に、健康寿命延伸により豊かな人生を送ることができる人が増える。
- ・ 社員がイキイキと働き、業績向上もはたしている会社。
- ・ 中小企業の経営者の意識の変革を促す環境の整備。意識付けの為の施策が行き渡った状態の下で上記の様な事が全ての中小企業において実現できる状態。
- ・ 退職するときに「この会社でよかった」と思えること。
- ・ 事業主と社員の健康に対する意識のレベルが同一線上にあること。
- ・ 働いている人々が全員、元気で仕事にやりがいを持つこと。
- ・ コミュニケーションをとりやすい職場で、健康意識が高くなる。
- ・ 労務管理がきちんと行われ、働く意思のある人が働ける範囲の中で、身の保障が確保され労働できる。
- ・ 事業主だけでなく社員全員が積極的に健康づくりに取り組み、お互いを高めあっている
- ・ 会社全体が元気になることで、1人1人も充実したライフスタイル 良い相乗効果を生みだす。
- ・ 会社全体の目標と各個人であげた目標に協力しあい取り組むこと
- ・ 仕事へのモチベーションが続き、アイデアなど創造性がアップし、それが、成果につながっていくことがゴールイメージです。

以上

※設問⑧⑭の自由記述について記載省略

